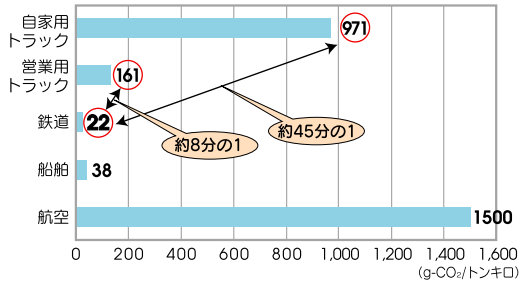


1. グリーン物流の推進

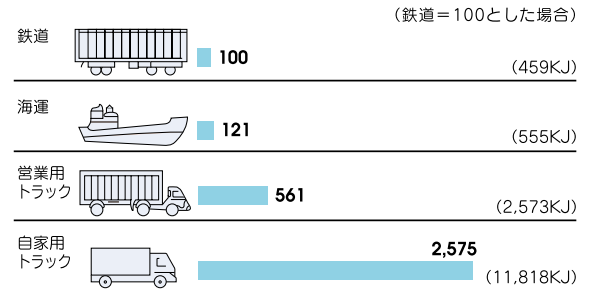
●環境面から見た貨物鉄道

■貨物輸送機関の二酸化炭素排出原単位(平成14年度)
1トンの荷物を1km運ぶのに排出する二酸化炭素の比較



[国土交通省資料]

■1トンの荷物を1km運ぶのに消費するエネルギーの比較(平成15年度)



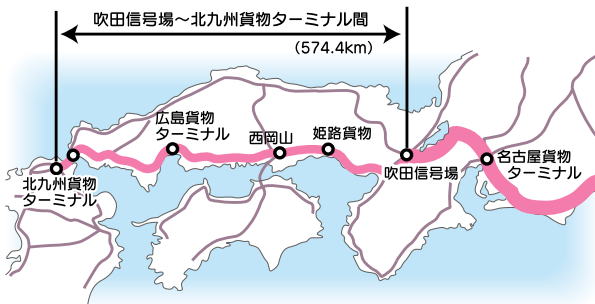
(鉄道=100とした場合)

[交通関係エネルギー要覧(平成17年度版)による]

●山陽線鉄道貨物輸送力増強事業

東海道線・山陽線の東京～福岡間など輸送需要が旺盛な区間・ダイヤ(夕刻～深夜帯発列車)を中心に、コンテナ列車を増結して輸送力増強を行います。これにより、物流コスト節減を図るとともに、環境負荷の少ない鉄道貨物輸送へのモーダルシフトを促進し、地球環境問題(CO₂)や道路環境問題(NO_x)の解決に貢献します。

■東海道線・山陽線における貨物鉄道整備の状況



設備能力不足によるボトルネック
・1300トン列車の走行制約
・荷主ニーズの高いダイヤの輸送力逼迫

コンテナ輸送力の増強事業
(1300トン列車走行対応化)
東京～北九州間 24→26両対応に



▲長編成コンテナ列車

◆助成制度

| 名称 | 内容 | 17年度予算額 |
|-----------------------|------------------------------------|---------|
| 幹線鉄道等活性化事業費補助(貨物鉄道整備) | 物流の効率化を図り、モーダルシフトに資する貨物鉄道の整備を推進する。 | 153 |

(単位:百万円)

●エコレールマーク制度

鉄道貨物輸送は、環境負荷の少ない輸送手段ですが、この環境にやさしい鉄道貨物輸送を活用し、地球環境問題に積極的に取り組んでいる企業や商品を認定する「エコレールマーク」制度を平成17年度より創設しました。

この「エコレールマーク」制度は、多くの消費者に、これら鉄道貨物輸送に積極的に取り組んでいる企業や商品を応援する輪を広げて、地球環境問題に貢献していくことを目指したものであり、メーカーなどの荷主企業や消費者における環境負荷低減の取り組みに対する意識の向上と相まって、鉄道貨物輸送へのモーダルシフトの推進が図られるよう「エコレールマーク」の普及・拡大に努めていくこととしています。

【参考】(平成17年12月現在)

- 1) 認定商品: 「2000ml六甲の美味しい水」ハウス食品株式会社、「トナー」株式会社リコー画像生産事業本部RS事業部、「サランラップ」旭化成ライフ&リビング株式会社
- 2) 認定企業: 花王株式会社、味の素ゼナラルフーズ株式会社、松下電池工業株式会社、キヤノン株式会社、アサヒ飲料株式会社、ハウス食品株式会社、味の素株式会社、味の素冷凍食品株式会社、カゴメ株式会社、株式会社リコー画像生産事業本部RS事業部、パナソニックストレージバッテリー株式会社、キッコーマン株式会社、中央精機株式会社、ライオン株式会社、日清オイリオグループ株式会社、三菱電機株式会社リビング・デジタルメディア事業本部、旭化成ライフ&リビング株式会社、サランラップ販売株式会社

